

令和8年度 時悠館 市民講座

ひろしまのもみじ －葉によるカエデ属の見分け方－

広島県の“県の木”は「モミジ」です。帝釈峡も、その名だたる名所の一つです。カエデ属は日本に26種、広島県には22種あるとされます。元庄原市文化財保護審議会会長の伊藤之敏さんから、知ったその日に使える「カエデ属の見分け方」を学びます。

○ 演題：「ひろしまのもみじ －葉によるカエデ属の見分け方－」

ゆきとし

元庄原市文化財保護審議会会長 伊藤之敏さん

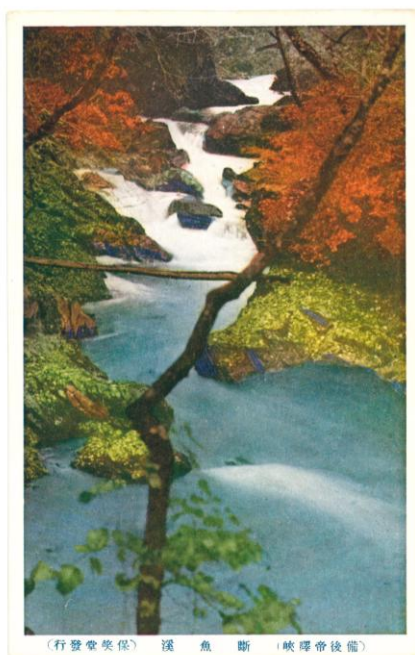
○ 日程等：令和8年11月7日（土） 13：30～15：00（予定）

○ 場 所：庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館（研修室）（広島県庄原市東城町帝釈未渡1909番地）

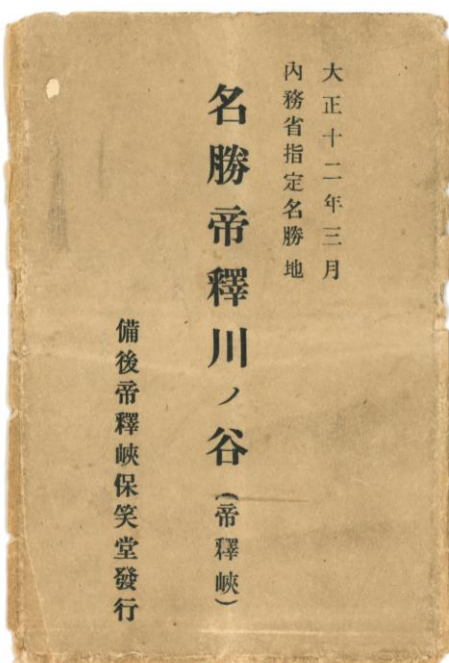
○ 申込み：時悠館（08477-6-0161）※聴講者は当日入館料を無料とします。

○ 主 催：庄原市教育委員会・時悠館友の会 共催：庄原市（協力：帝釈自治振興区）

○ 問合せ：FAX 08477-6-0162 E-mail jyuu-tou@city.shobara.lg.jp



（行發堂榮保） 溪 魚 斷 （峡釋帝後備）

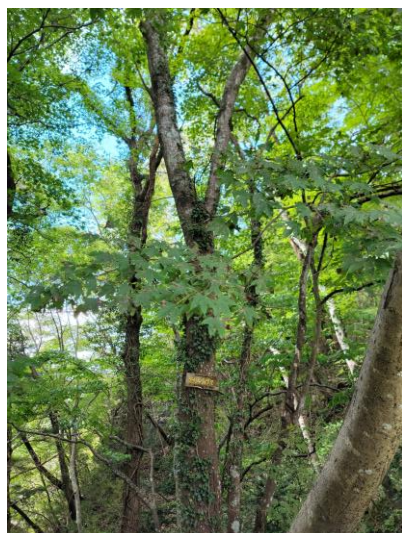


庄原市HP「時悠館」

だんぎよけい
紅葉の断魚溪の絵葉書（「名勝帝釋川ノ谷（帝釋峡）」備後帝釋峡保笑堂發行、個人蔵・当館展示）

当館では、大切な地域資源である国名勝「帝釈川の谷（帝釈峡）」、帝釈峡遺跡群、比婆道後帝釈国定公園等の魅力について、皆さんと一緒にどんどん探っていきます。

庄原市天然記念物に指定された帝釈峡周辺のカエデ属



三坂氏清のタイシャクイタヤ



三坂氏清のメグスリノキ



帝釈宇山のオオモミジ



庄原市文化財HP
「東城地域の記念物
(天然記念物)」

◆^{うじきよ}三坂氏清のタイシャクイタヤ

タイシャクイタヤは、国内では帝釈峡周辺に分布している。雌雄同株で 石灰岩地に多く自生している。「イタヤカエデ」に比べて葉が小さく、切れ込みが深い。葉全体に曲がった軟毛があり、特に葉の裏には密生する。

本樹は、帝釈峡特有の樹種であり、「休暇村帝釈峡」の第4駐車場と神龍湖との間の法面に位置し、容易に見学可能な典型資料として学術的にも貴重である。

なお、タイシャクイタヤは、国外では朝鮮半島南部の石灰岩地に分布し、朝鮮半島と中国地方が連なっていた古い時代の大陸系遺存種であることがうかがえる。

◆三坂氏清のメグスリノキ

メグスリノキの分布は、本州・四国・九州で日本固有の樹木である。雌雄別株で、稀に山地の谷間や山腹に見られる。この地域では、石灰岩地の斜面に多く自生している。樹皮や枝葉を煎じて洗眼等に用いたことから「目薬の木」と言われている。

本樹は、「タイシャクイタヤ」とともに帝釈峡特有の樹種であり、「休暇村帝釈峡」の遊歩道付近に自生しており、容易に見学可能な典型資料として、学術的にも貴重である。樹勢は旺盛である。

◆^{うやま}帝釈宇山のオオモミジ

オオモミジの分布は、北海道南部・本州・四国・九州で日本固有の樹木である。雌雄同株で、太平洋側の山地に多く、広島県内の山地に多く自生している。

樹形と紅葉が美しいことと容易に見学可能な典型資料として、学術的にも価値が高い。

同属としては、枝分かれした巨樹であり希少価値が高い。

地上約1mの位置で4支幹に分岐している。

(現地説明板を複写して転載・編集)